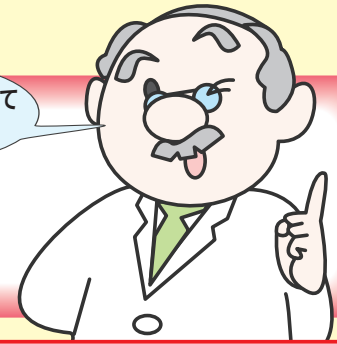


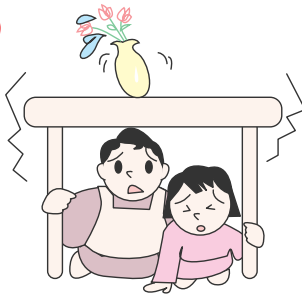
もしもの時に身を守る 地震安全対策10か条

日ごろからよくおぼえておくことが必要じゃ。



1 まずわが身の安全を図れ

なによりも大切なのは命。地震が起きたら、まず第一に身の安全を確保する。



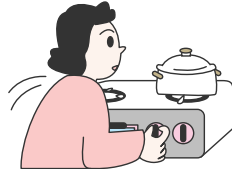
6 狭い路地、塀ぎわ、がけや川べりに近寄らない

ブロック塀・門柱・自動販売機などは倒れやすいので要注意。



2 すばやく火の始末あわてず、さわがず冷静に

「火を消せ!」とみんなで声をかけ合い、調理器具や暖房器具などの火を確実に消す。



7 山崩れ、がけ崩れ、津波に注意する

山間部や海岸地帯で地震を感じたら、早めの避難体制を。



3 非常脱出口を確認する

とくに鉄筋コンクリートの建物内にいるときは、閉めたまままだと建物がゆがみ、出入口が開かなくなることがある。



8 避難は徒歩で、荷物は最小限にする

指定された避難場所に徒歩で避難を。車やオートバイは使わない。



4 火が出たらすぐ消火を

「火事だ!」と大声で叫び、隣近所にも協力を求め、天井に燃え移る前ならあわてずに初期消火に努める。



9 みんなが協力し合って応急救護

お年寄りや身体の不自由な人、ケガ人などに声をかけ、みんなで助け合う。



5 外へ逃げるときはあわてずに

外に逃げるときは、瓦やガラスなどの落下物に注意し、落ち着いた行動を。



10 正しい情報をつかみ余震を恐れるな

うわさやデマに振り回されない。ラジオやテレビで正しい情報を。

